



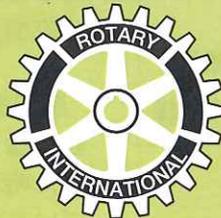
ロータリー：変化をもたらす
2017～2018年度 R.I.テーマ

2017.7～
2018.6

RI会長
イアン H.S. ライズリー
ガバナー
細井 保雄



日本の航空発祥の地「所沢」



R.I.第2570地区 第3グループ
所沢東ロータリークラブ

週報

2017年10月5日

第1319回 例会 PROGRAM

1. 点鐘(会長)
2. 国歌斉唱
3. ローターソング斉唱
4. 四つのテスト
5. 来賓紹介(副会長)
6. 会長挨拶
7. 幹事報告
8. 出席報告
9. ローターの友紹介
10. 委員会報告
11. 記念祝福
12. スマイルボックス
13. クラブ・フォーラム
「ロータリーとは何だ
～シェルドン語録」
飯田政義 会長

本日の記念祝福

《ご夫人・ご主人誕生》石井堯夫 梅沢江利奈 青木裕美子
丸橋千春 徳永眞弓

出席報告

月日	総数 41(免除者 16)	出席	MU	%
10/5	41			
9/28	41	28		75.67

例会日

当番

プログラム

10/5(木)	石井	クラブ協議会「クラブ・フォーラム ロータリーとは何だ～シェルドン語録」
10/12(木)	例会振替	10月8日(日) 「ところざわまつり」綿菓子販売
10/19(木)	石田	「女性活躍・誰もがいきいきと輝ける 社会に」埼玉県産業労働部副課長 伊島順子様
10/26(木)	上園	米山記念奨学会活動について 2570地区米山記念奨学部 委員長 島崎義春様(行田さくらRC) 奨学生 リシュウミさん(西武文理 大学・入間RC)

第1318回 例会 9月28日

【会長挨拶 飯田 政義】



《結婚記念祝福》

皆様こんにちは。本日は、配布しました「シェルドン退会の理由」のお話を致します。

幹事報告

秋場 孝三郎

○10月26日例会に米山奨学生の王くんが出席されます。アメリカ留学の前に皆さんとお会いしたいとのことです。

○R財団部門ポリオプラス委員会より、11月3日東松山スリーデーマーチ参加のご案内がきております。参加希望の方は事務局までお知らせください。ポリオ撲滅のPR目的です。

○10月のロータリーレート 1ドル=112円

○10月より衣替えです。例会時他ロータリー公式行事にはネクタイ着用をお願いします。

四つのテスト 1 真実かどうか 2 みんなに公平か 3 好意と友情を深めるか 4 みんなのためになるか どうか



ROTARY CLUB
OF
TOKOROZAWA EAST

●例会日：毎週木曜日(12:30～13:30)
●例会場：ベルヴィザ・グラン
●住所：所沢市星の宮1-3-5
TEL 04(2923)4122

●事務局：所沢市星の宮1-4-17
TEL 04(2928)6363
FAX 04(2928)6369
●E-mail: info@te-rc.com
●H P: http://www.te-rc.com

会 長 飯田 政義
幹 事 秋場孝三郎
会報広報委員長 新倉 良之

卓話

「所沢市における高齢者を被害者とした犯罪例」

所沢警察生活安全課課長 山田 隆 様



みなさんこんにちは。

平素から警察業務にご協力いただきましてありがとうございます。

本日は、高齢者の被害ということで振り込め詐欺について事例を交えてのお話と、皆さんの近くでどのような犯罪が起きているかについてのお話をさせていただきますと思います。

国際化が進み、地域のコミュニティが薄まってきたことを背景に、平成16年まで増加の一途をたどってきました。平成16年に、国を挙げて対策をとろうということで犯罪対策閣僚会議が作られ、犯罪抑止・防犯ということが強く押し出されてきました。市役所・行政の方と協力しまして犯罪を防ぐというところで現在進めているところであります。

皆様のご協力のおかげで平成16年から12年間、犯罪の刑法犯認知件数については減少傾向にあります。所沢の管内では8月末までで1,890件の刑法犯（物を取られた・傷害・強制わいせつ等）の認知がありました。昨年比で-213件となり、非常に下がっております。但し、全部が下がっているわけではなく、強制わいせつ、自動販売機の被害は増えています。自動販売機の被害は今年に入り、市の東側の地区で増えています。警察でも対策を取っていきますので、皆様のご協力お願いいたします。

高齢の方が被害に遭ってしまう例としてお話いたします。

振り込め詐欺という言葉をお聞きになったことがあると思いますが、手口としては、オレオレ詐欺、還付金等詐欺、架空請求詐欺、融資目的の詐欺の4つのパターンに分類されます。次々と新しい手口が出てきて、対応に苦慮しております。県内での振り込め詐欺の被害は、昨日現在で764件発生しており、前年比プラス171件と猛烈な数字でございます。昨日一日だけでも5件発生しております。全国で見ますと埼玉県は8月末現在でワースト5位という数字となっております。所沢署では、県内39

ある警察署で昨日現在ワースト4位です。1位草加、2位浦和、3位川口となります。

事例をお話いたします。電話がかかってくる、警察では予兆電話と定義しています。電話が掛かってきた時看破していただき、警察に通報していただいています。資料にもありますハガキが送られてくる、また最近ではメールが送られてくるというやり方もあります。

オレオレ詐欺では、「携帯電話の番号が変わった」「かばんをなくした」「会社の同僚が現金を取りに行く」というものが、最初に発生した手口です。最近では中富に住む80歳女性に、孫をかたる者から電話があり、会社のお金を電車に忘れて至急用意しなければいけないと言い、学生なのにと言うアルバイトだと言い、巣鴨まで行くと代りに来たという者に100万円を渡してしまったということがありました。

また、警察官をかたったものでは、あなたのキャッシュカード・クレジットカードが犯罪に使われていますので、捜査のため預かりますと言い、暗証番号も聞きすぐに引き出してしまうという手口です。本当に警察官かどうかということを確認することも大事です。

架空請求では、市役所の方をかたり高額医療費の還付金があるとATMまで誘導し、送金させるという手口で非常に多くなっています。

高齢者がという事例ではありませんが、コンビニエンスストアを舞台とした被害も多くなっています。アダルトサイトを使ったであろうというメールが来て、和解金だということで、コンビニで5万円の電子マネーを20ヶ所で買わされて、合計100万円の被害にあってしまったということがありました。

最後に、資料としてお配りしました訴訟金名目のハガキが送られてきます。高齢の方は訴訟という名目で不安となり電話を掛けてしまい、相手の口車に乗ってしまい現金を払ってしまうという手口があります。

この他にも、生活安全課では悪徳商法を扱っています。投資の詐欺、リフォームの詐欺があります。

犯罪の手口を皆さんに知っていただければ、犯罪は起らない。手口がわかれば騙されない。広く、深く、何回も皆さんに情報提供させていただいて、被害が一件でも少なくなるようにやらせていただきたいと思いますので、今後ともご協力お願いしたいと思います。

ご清聴ありがとうございました。

ニコニコボックス 第 1318 回例会 9 月 28 日

飯田 政義 本日の卓話、山田 隆様、よろしくお願い致します。

秋場 孝三郎 山田様、よろしくお願い致します。

上田 福三 町内会の行事で欠席させていただきます。申し訳ありません。

梶山 虎雄 過日行われました商工会議所ゴルフ大会に、東クラブからも大勢の皆さんに参加いただき、ありがとうございました。お蔭様で天候にも恵まれ大成功でした。入賞された方々おめでとうございます。

木曾 晴夫 仕事で早退します。ニコニコします。

武田 峰和 異動で本社のエクイティアドバイザリー部に転勤になりました。大変お世話になりました。所沢はとても素晴らしい街でした。後任は河野（こうの）といたします。よろしくお願い致します。

本日合計 20,000 円 累計額 219,000 円



シェルドン退会の理由

ポール・ハリスやチェスレー・ペリーはロータリアンとして一生を終えましたが、シェルドンは1921年以降ロータリーとの関わりを絶ち、1930年に退会しています。なぜ退会したのかという理由を巡って、諸説が囁かれていますので、私なりの推論をご披露したいと思います。但し、これは状況証拠を積み上げた私個人の推論に過ぎないことをあらかじめお断りしておきます。

まず言えることは、シェルドンは経営学の専門家ならびに教育者であって、彼の頭の中にあるのは、いかに合理的な企業経営をして事業を発展させるかを教えることであり、その他の対社会的奉仕活動によって、社会に貢献することではなかったことです。彼の文献の中からは、職業を通じた奉仕活動以外の、対社会的奉仕活動に関しては一切触れられてはいません。

親睦と会員の物質的相互扶助団体に過ぎなかったロータリーに、新しい経営学に基づく奉仕理念を提唱したのが、アーサー・フレデリック・シェルドンです。

シェルドンの職業奉仕理念は、継続的な事業の発展を得るためには、自分の儲けを優先するのではなく自分の職業を通じて社会に貢献するという意図を持って事業を営む、すなわち会社経営を経営学の実践だととらえて、原理原則に基づいた企業経営をすべきだと考えました。

即ち自分の事業を経営学の実践だと考えて、継続的に利益をもたらす顧客を確保する方法を、いかに編み出すかを説いたのです。シェルドンの文献を読む限り、この考え方は、彼が初めて経営学の本を出版した1902年から最後の著作1929年まで、一貫して変わっていません。敢えて変わった点を探すとすれば、晩年に「利益を保全する」ことが加わったくらいです。

シェルドン・スクールは大盛況で、数多くの卒業生を輩出して、その後のアメリカの産業界の中核として、アメリカ経済を担っていきました。

1921年、ロータリアン数8万人に比べて、シェルドン・スクールの卒業生26万人という数からも、シェルドン・スクールの隆盛ぶりがうかがわれます。シェルドンから見れば、ロータリーも数多くの学生の一人に過ぎなかったのかもしれませんが。事実上、初期のロータリーで指導的役割を担っていたロータリアンのほとんどは、シェルドン・スクールの卒業生でした。

親睦と相互扶助という姑息な手段で世渡りをしてきた集団に、大勢の卒業生を通じて経営学を学ばせ、実践させることによって、世界的な組織にまで発展させたのです。

He profits most who serves best はシェルドンが提唱した哲学や経営学に基づいたモットーです。

従って初期の年次大会の主役は当然のことながら、シェルドンであり、彼の考え方を聞くために多くのロータリアンが集まってきたのです。シェルドンの言う通りに会社経営をすると、どの会社も大きく業績を伸ばしていきました。

ロータリークラブ連合会の組織の中に *Business Method Committee* を作って自らその委員長を務めて、業種別の小委員会を頻繁に開いて情報交換を行った記録が残っています。1910年代の年次大会議事録には、毎回のように *Business Method Committee* からの報告事項が掲載されています。

1911年のポートランドで開かれた年次大会のクルージングで、ミネアポリス・クラブの会長フランク・コリンズ(果物商)が *service not self* というフレーズを発表しました。同クラブの記念誌によると、このフレーズがシェルドンのモットーを同じ道徳律の見地から述べたものであること承諾してもらうために、あらかじめシェルドンを訪れたことが記載されています。すなわち同時に使われ始めた *Service not self* はシェルドンの *He profits most who serves best* と同じ意味を持って使われていたのです。

ところが1920年ころから *service above self* というフレーズが、これに代わって使われ始めました。提唱者も、その真意もわからないフレーズです。事実、*service above self* の出所をあらゆる手段を講じて調べましたが、それを解く鍵は見つかりませんでした。最近では「他人のことを思いやり、他人のために尽くすこと」という注釈がつけられていますが、これはまったく後付けの解釈と言わざるを得ません。

その正体不明、意味不明のフレーズが、シェルドンのモットーと肩を並べて使われるようになってきたわけです。

さらに言葉遊びが進み、1921年には *Service before self* などというモットーも生まれました。さらにそれぞれのモットーの持つ意味も徐々に変化しました。自分ひとりで儲けを独占してはいけないという意味だった *Service not self* が己を犠牲にした奉仕、無我の奉仕に変わり、*Service above self* は他人のことを思い遣り、他人のために尽くす奉仕という解釈になりました。

さらに同じころから、シェルドンのモットーを排斥しようという運動がイギリスを中心に起こってきました。このモットーに含まれている *profit* という単語に対する拒否反応が直接的な理由でしたが、宗教感や道徳感を敢えて避けて、純粋な経営学として作ったこのモットーそのものに対する反発が強く起こってきました。野蛮なアメリカ人だから *profit* という次元の低い言葉を使っているが、よき伝統と高い倫理観を持っているヨーロッパの人間として、受け入れる難い、次元の低いモットーだという理由でした。

なお、日本で開催された地区大会でもたびたび、*He profits most who serves best* を廃止しようという議題がでていた模様です。

シェルドンは1921年にエジンバラで開催された年次大会で「ロータリー哲学」という表題の講演をしていますが、これを最後に、ロータリーとは完全に手を切っています。健康が優れなかったという説もありますが、その後も活発に著作活動と学校経営に励んでいきますから、私は別な見方をしています。

1923年、決議23-34で、*service above self* と *He profits most who serves best* の双方が、対等な形でロータリーの奉仕理念として確定したことも、シェルドンにとっては不愉快なことであったと推察します。

シェルドンがロータリーと袂を分かち誘因となったのは1927年の四大奉仕制定であったと思われます。奉仕理念を持っていなかったロータリーに新たな経営学に基づく奉仕理念を提唱して、その理念の下で大きく発展させてきたにも関わらず、この四大奉仕の制定によって、シェルドンの奉仕理念は、四分の一の理念に格下げされたわけです。

さらに、この四大奉仕の制度はイギリスが中心になって作ったため、職業奉仕が *Vocational Service* と名付けられて、いわゆる職業天職論の要素が入ってきました。シェルドンは絶対に *Vocation* という単語は使わずに、すべて *Occupation* で通してきましたし、敢えて *God* という言葉の使用も避けてきた経過がありました。

決定的な亀裂は1929年の国際大会に、RIBIから *He profits most who serves best* を廃止するという決議案29-7が提案されたことです。もともとこの決議案は否決されましたが、シェルドンに大きな屈辱感を与えたことは容易に想像できます。

さらに、この大会で身体障害児対策をロータリーの最優先課題として実施することが決定したために、ポール・ハリスと意見が対立して、修復不可能になったことも否定できません。

同じ年、最愛の息子を30歳の若さで亡くしたことも大きな原因の一つかも知れません。

なお、チェス・ペリーは事務総長としてロータリーから収入を得ていましたし、ポール・ハリスも晩年は名誉会長の肩書きで、ロータリーの費用を使って全世界を旅行していたのに比べて、シェルドンは自らの学校経営で収入を得ており、ロータリーに対して貢献こそしたものの、何の利益も得ていたわけではありません。

1921年以降のRIやシカゴ・クラブの資料を調べてみましたが、どこにもシェルドンの名前は見当たりません。RIもシカゴ・クラブもあえてシェルドンの存在を無視したとも考えられます。

なお、その後のシェルドン・スクールの運営は健全に行われ、たびたび教科書の改訂が行われ、「シェルドン・コース」の最後の改定は、彼の没後1936年に行われています。